

第2回 買物公園のあり方検討会議

1. モビリティの試乗について
2. 前回会議の振り返り
3. 買物公園エリアの現状について
4. エリアプラットフォームについて
 - ア. 他都市の事例紹介
 - イ. 各参加者のイメージするエリアプラットフォームについて
5. 今後のスケジュール

1. モビリティの試乗について

(1)会議参加者向け電動キックボード走行体験会（本日実施）

試乗会の概要

買物公園のあり方検討会議の参加者の一部の方に電動キックボードを公道で体験走行していただきました。

日時：令和5年6月29日（木） 13時～15時頃

場所：旭川駅前から神楽地区（公道上を周回）

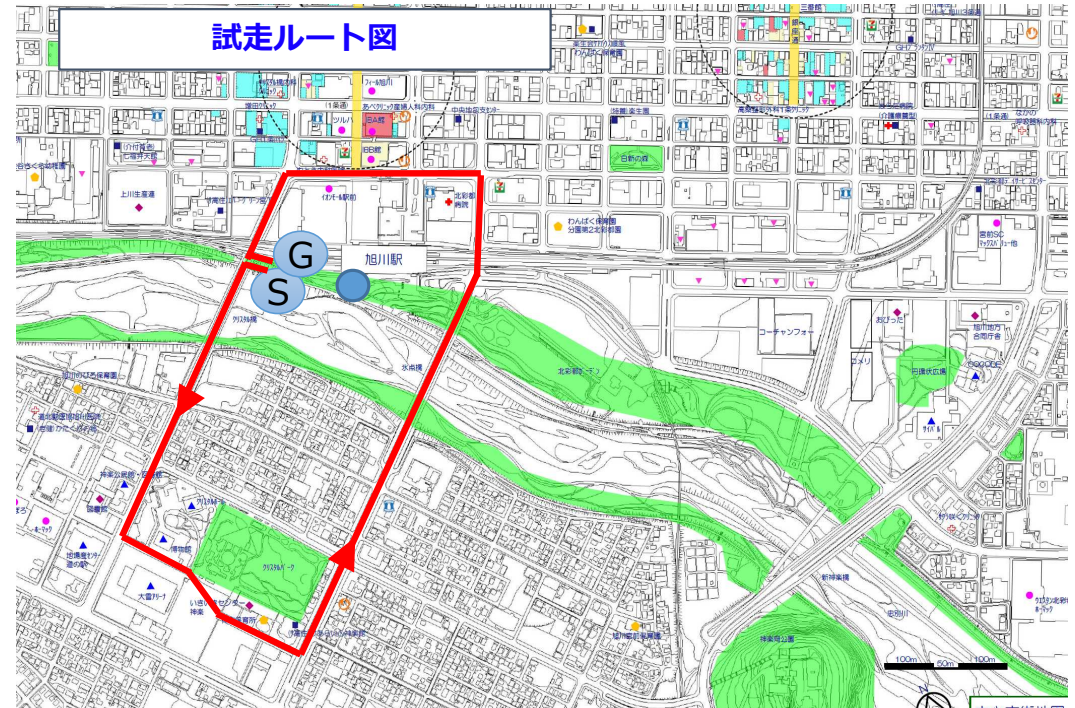
内容：ガイドの指示に従い，縦列にて走行体験を行う。

（事前に駅南側の舗装路面で操作説明を行う。）

走行ルート

- ・ 集合場所（駅南広場イオン側出口）
- ・ イオン裏通路で操作説明
- ・ クリスタル橋から神楽側へ
- ・ クリスタルホール左折，永隆橋通左折
- ・ 氷点橋渡り，宮下通左折，
- ・ 昭和通左折
- ・ クリスタル橋手前通路左折

※全長 約3.0km



1. モビリティの試乗について

(2)旭川まちなかモビリティ体験会2023（今後予定）

体験会の目的

買物公園は歩行者専用道路であり、市民の憩いの場として利用されていますが、更なる滞在機能の強化、回遊性の向上による賑わい創出の検証として、歩行者空間における乗り物（小型モビリティ）との**共存性や社会受容性を調査**するため、歩行者空間（歩行者専用道路）でも走行可能な小型モビリティなどの体験会を実施し、まちなかでの移動に関する調査や、歩行者と乗り物との共存性に対する意見を把握することを目的として実施します。

日時

令和5年7月1日（土）10:00～15:00

※雨天時は翌日へ順延

モビリティ

WHILL（電動車いす）



出典：WHILL
WHILL model C2



出典：WHILL
WHILL model F



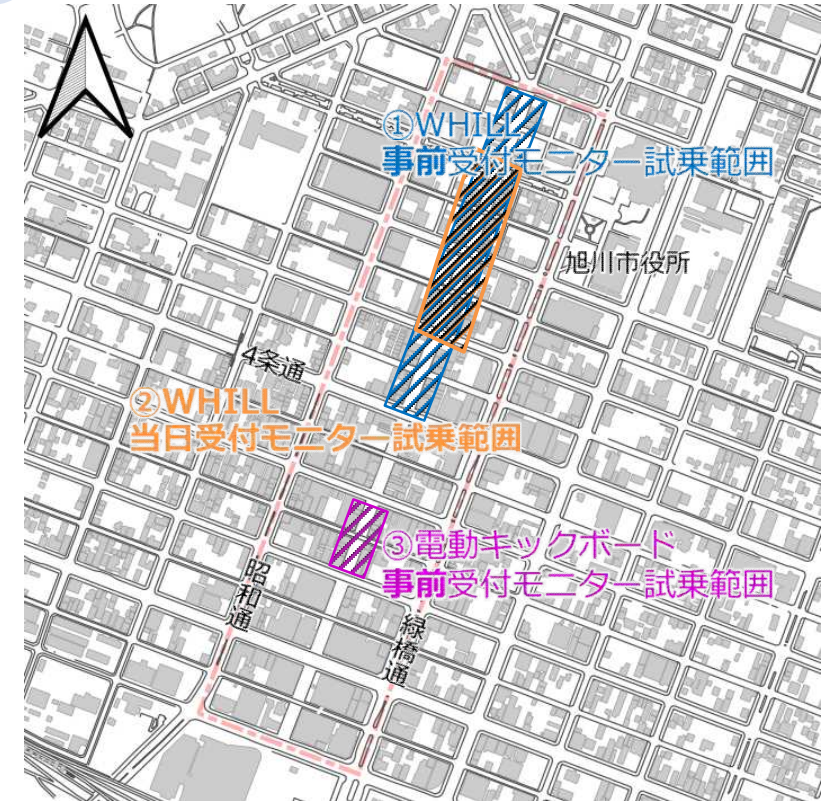
出典：WHILL
WHILL model S

電動キックボード



出典：SEGWAY
Max Plus

体験会会場・試乗の範囲



① WHILL事前受付モニター

1時間程度、4～8条通の間を自由に乗車

② WHILL当日受付モニター

15分程度、5～7条通の間で乗車を体験

③ 電動キックボード事前受付モニター

15分程度、2～3条通の間で乗車を体験

2. 前回会議の振り返り

買物公園エリアの可能性や課題

- 街路樹を生かし、季節変化を楽しめる
- 子ども・親世代がいる
- 大学生・若者を呼ぶ
- 日常使い・日中の賑わい
- 私的な機能の集積
- 電気がついている安心感
- 緑のネットワーク
- 公園機能と買物機能が交差する空間
- 目的となる空間
- 芝生など憩いの場
- 語り合える場所
- 食の充実

- 新しい担い手
- 人とのつながり
- 人づくり
- 事業者が開業したいと思う空間
- 働ける場所

- 旭川らしい取組みを象徴する拠点
- デザイン都市
- 中心性への期待
- リピーター確保
- 将来に向けたタネをまく
- 周りの活性化につなげる
- イケてる空間
- 旭川の情報を得られる
- 新しい形の官民連携
- 「盛り上げる」という言葉がなくなるように

- 既存交通手段と新しいモビリティの整合
- 自転車との親和性
- 回遊性の創出
- 回遊マップ（魅カスポットの把握）
- 道路であることの限界
- 駐車場

- 検討会議で議論
- 地域商店街などとの連携・協力
- 街路空間・道路空間の規制緩和
- イベントで利用しにくい
- 「熱い思い」が反映されない

①

魅力ある空間
とするには

②

チャレンジの
場

③

空間から生み出
すもの

④

交通（回遊性）
の問題

⑤

仕組み上の課題

買物公園エリアの可能性や課題

①
魅力ある空間
とするには

②
チャレンジの
場

③
空間から生み出
すもの

④
交通（回遊性）
の問題

⑤
仕組み上の課題

ライトな変化,書き換え

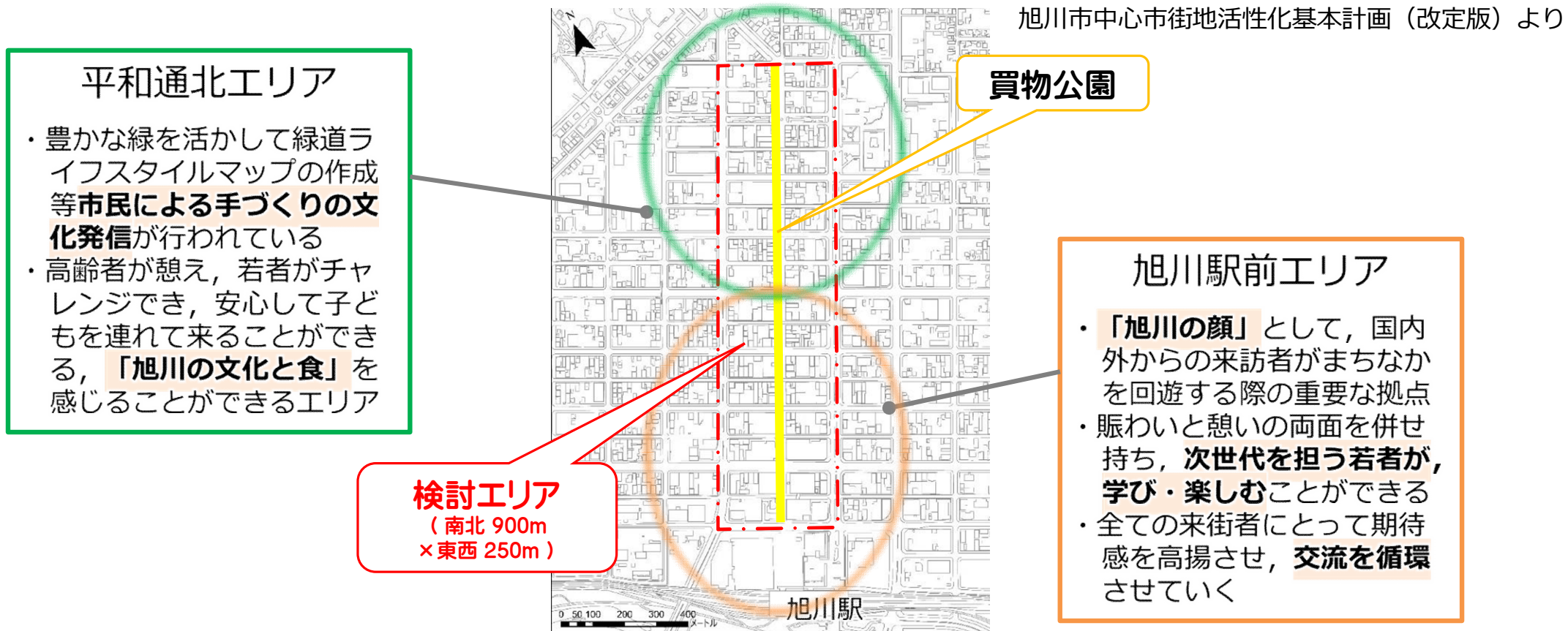
アジャイルなまちづくり

— 実験を繰り返しながら,アップデートし続けるまちづくり —

3. 買物公園エリアの現状について

(1) 買物公園エリアの位置づけ

- ・ 買物公園を含む中心市街地の方向性として、市民自らの手で「日常的ににぎわうまちなか」に向けて取組みを推進
- ・ 「動機付け（魅力・必要づくり）」の課題解決のため、推進方針として「多様な主体が自ら考え行動していく」
⇒ エリプラの役割は多様な主体とゆるやかにつながる場となり、効果的な連携を図っていくことが求められている



3. 買物公園エリアの現状について

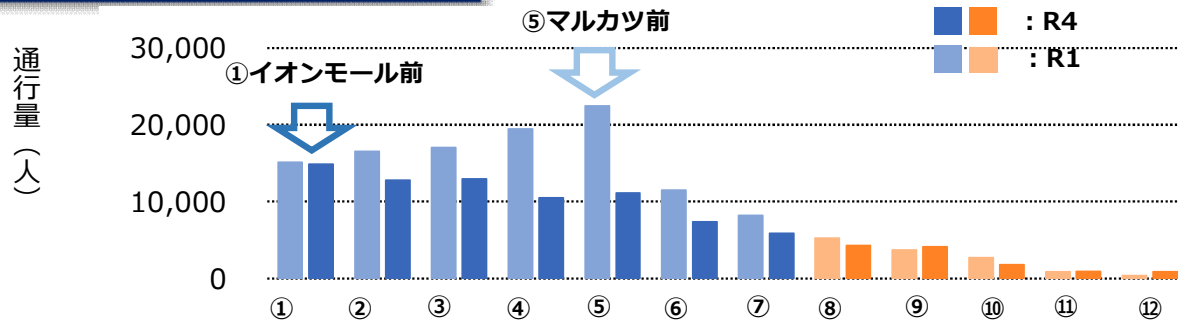
(3)買物公園内の通行量と南北での割合の比較

- ・通行量は、コロナ禍のR2・R3年では落ち込んだが、R4から回復傾向にある。
- ・4条以北の通行量は、以南と比べると、約 1 / 5 程度と少ない。
- ・R1時点ではマルカツ前⑤が通行量が最も多かったが、R4時点では減少しイオンモール前が相対的に多くなった。

買物公園通行量（7月金曜日）の推移



各地点における通行量の推移



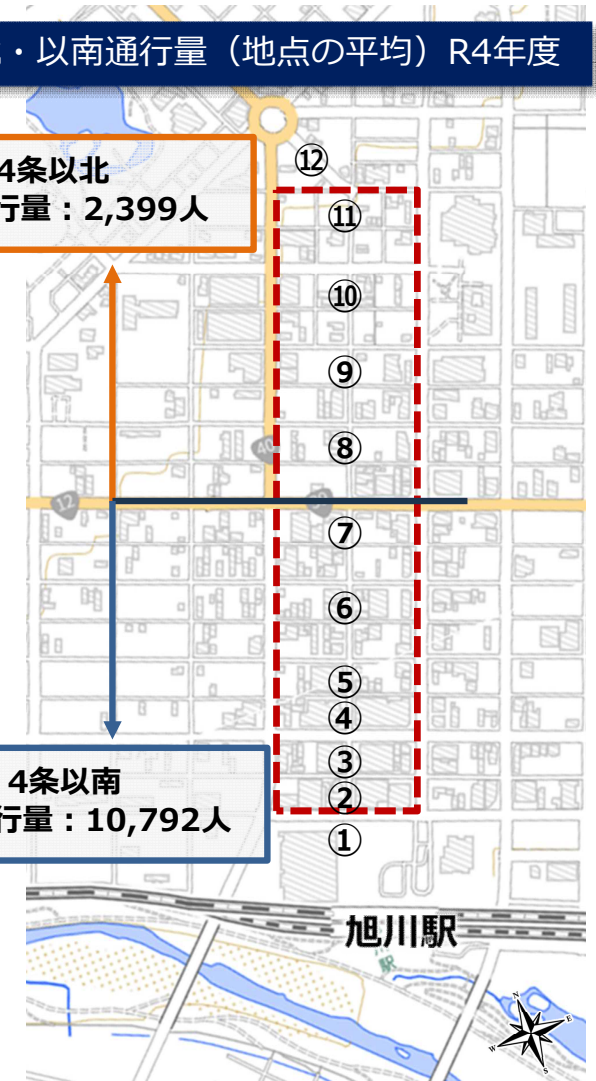
4条以北	⑧秋田堂	⑨6条TIMES	⑩まちなかぶんか小屋	⑪川村薬局	⑫矢口歯科
4条以南	①イオンモール	②旭川宮下パーキング	③ツル八旭川中央ビル	④フィール旭川	⑤マルカツ
	⑥オクノ	⑦4条ローソン			

出典：各年度旭川平和通買物公園通行量調査結果より作成

4条以北・以南通行量（地点の平均）R4年度

4条以北
平均通行量：2,399人

4条以南
平均通行量：10,792人



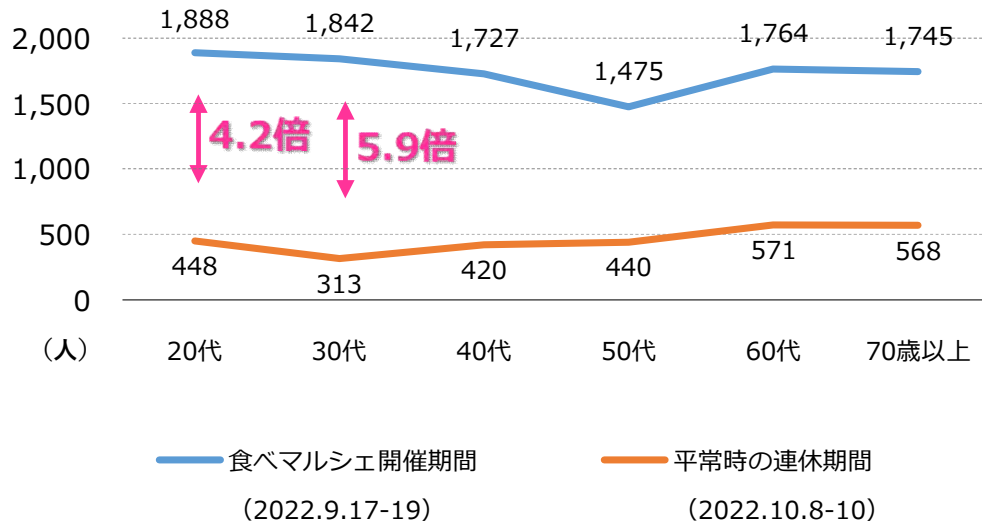
通行量調査実施箇所

3. 買物公園エリアの現状について

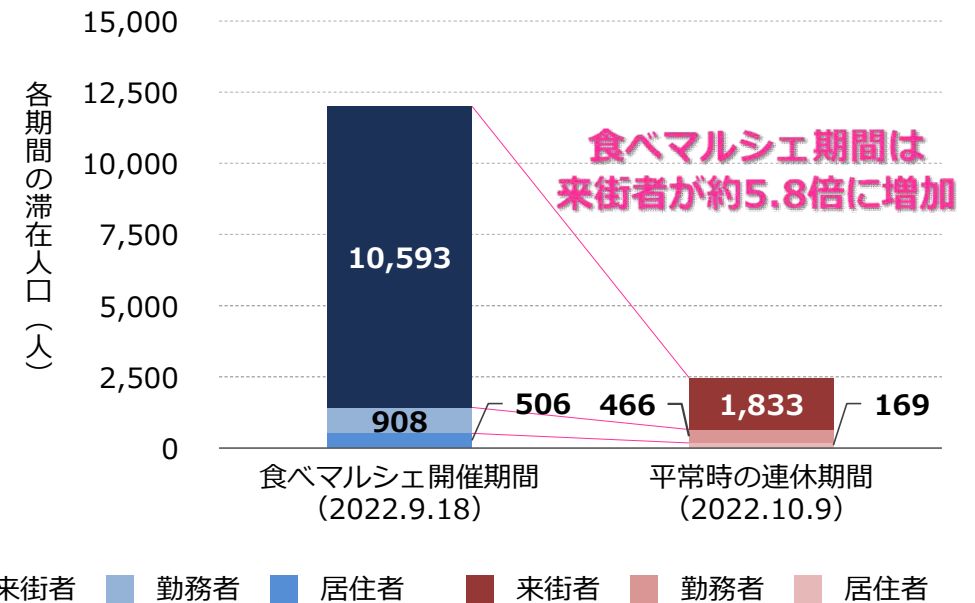
(4)買物公園周辺の滞在人口（平常時連休期間（10月）と食べマルシェ期間の比較）

- ・平常時と食べマルシェ時の滞在人口を比較すると、特に20代が約4倍、30代が約6倍に増加していた。
- ・訪れた方を属性別にみると、平常時と比べ勤務者なども増えるが、「来街者」が約5.8倍と顕著に増加していた。

年代別の滞在人口



訪れた方の属性別の滞在人口



買物公園を中心とした約1km圏内のピーク時滞在人口

データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

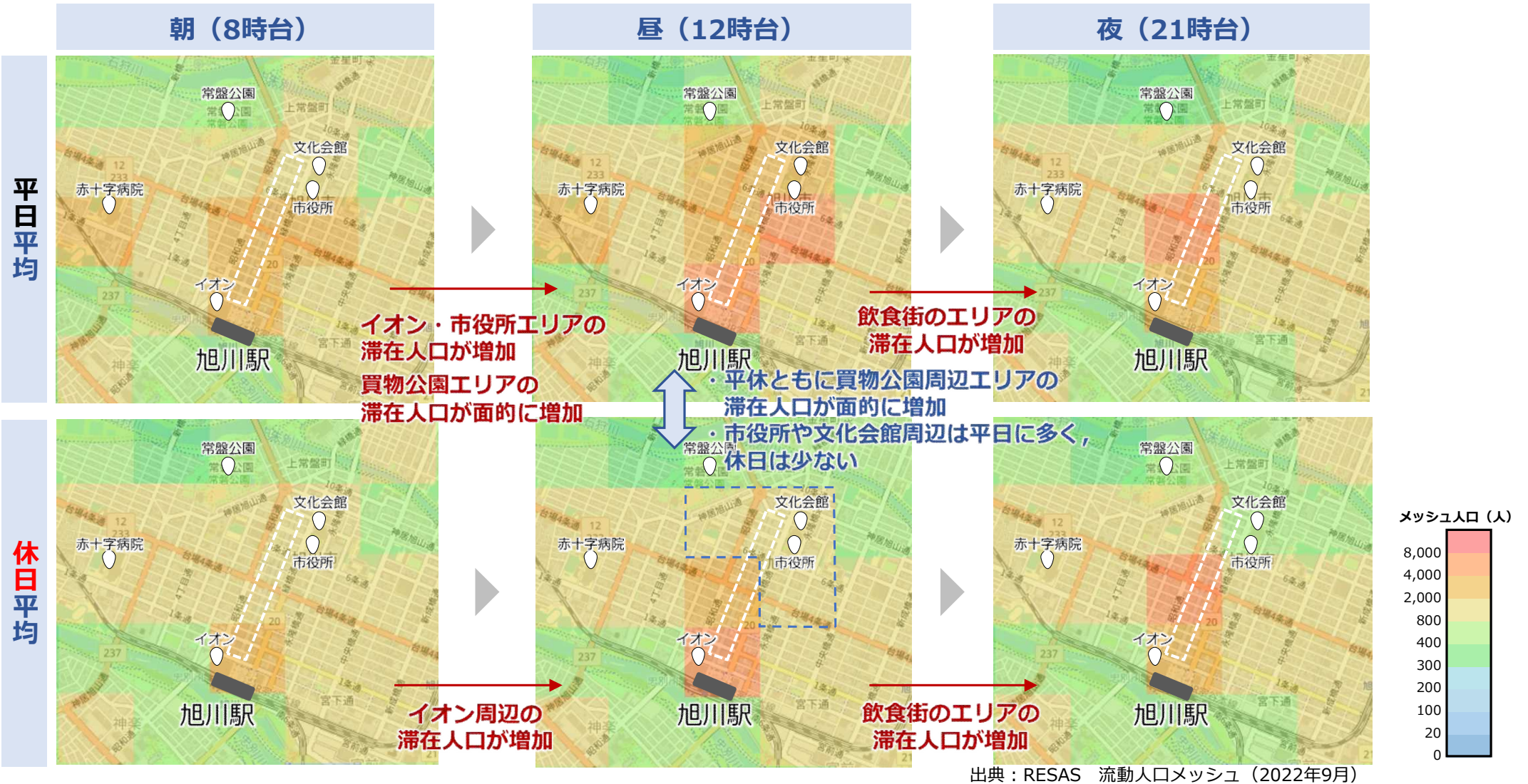
※範囲は買物公園を中心とした直径約1km

※年代別の滞在人口は、それぞれ3日間の11～13時における推計滞在人口の平均値

※訪れた方の属性別の滞在人口は、R4.9.18の滞在人口ピーク時間帯（11～13時）の推計滞在人口合計値

3. 買物公園エリアの現状について

(5) 滞在人口の時間的な変化

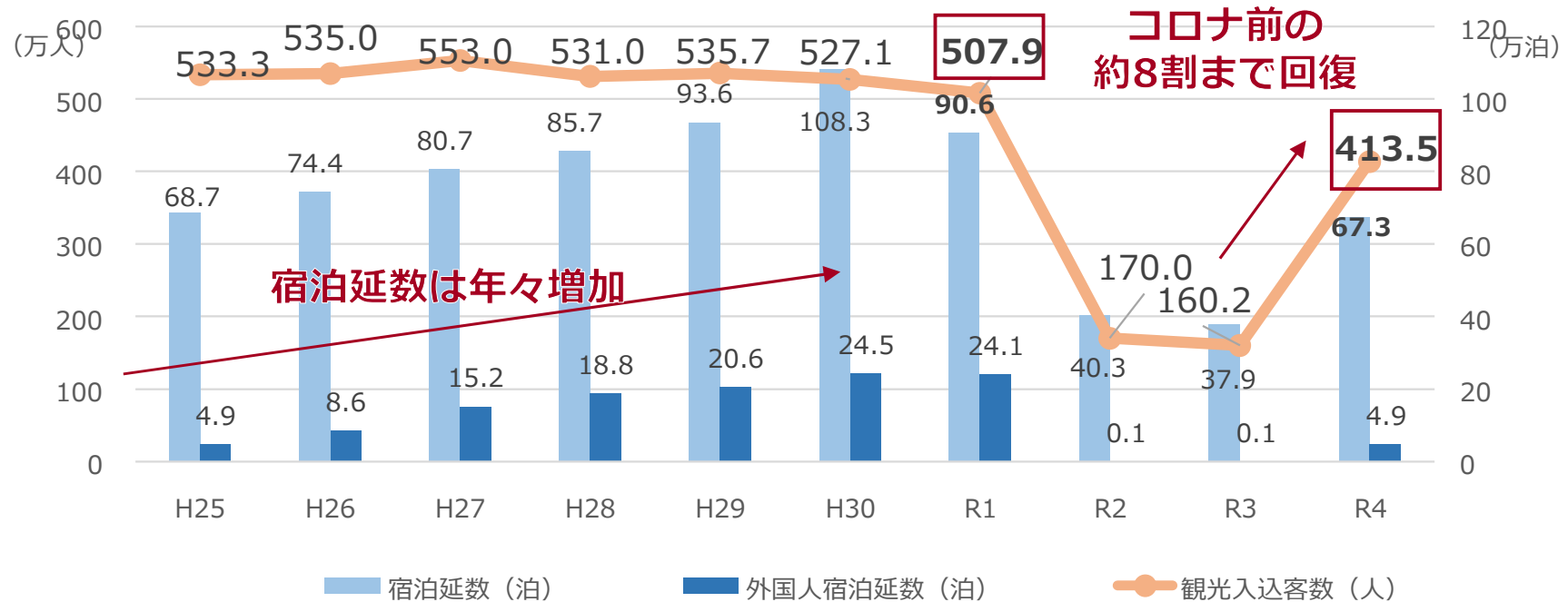


3. 買物公園エリアの現状について

(6)観光客の来訪動向（旭川市内の観光入込客数，宿泊延数，外国人宿泊延数の推移）

- ・コロナ禍以前のH25-H30 までは宿泊延数，外国人宿泊延数共に右肩上がりで増加していた。一方で観光入込客数は横ばいであるため，その要因の一つとして，1組当たりの宿泊日数が増加していることも想定される。
- ・コロナ禍のR2,R3についてはいずれの要素も大きく落ち込んでいるが，R4はR1と比較し観光入込客数は8割，宿泊延数については7割超まで回復している。

旭川市観光入込客数，宿泊延数，外国人宿泊延数の推移



出典：旭川市観光スポーツ交流部 観光客入込状況

3. 買物公園エリアの現状について

(7)買物公園エリアで実施されている取組

緑道ワークス

団体の概要

7条緑道のよりよい環境づくりのため、未来の旭川市民のために心地良い空間づくりを自主的かつ積極的に行うことを目的として活動

主な取組

7条緑道の「アダプト・プログラム」

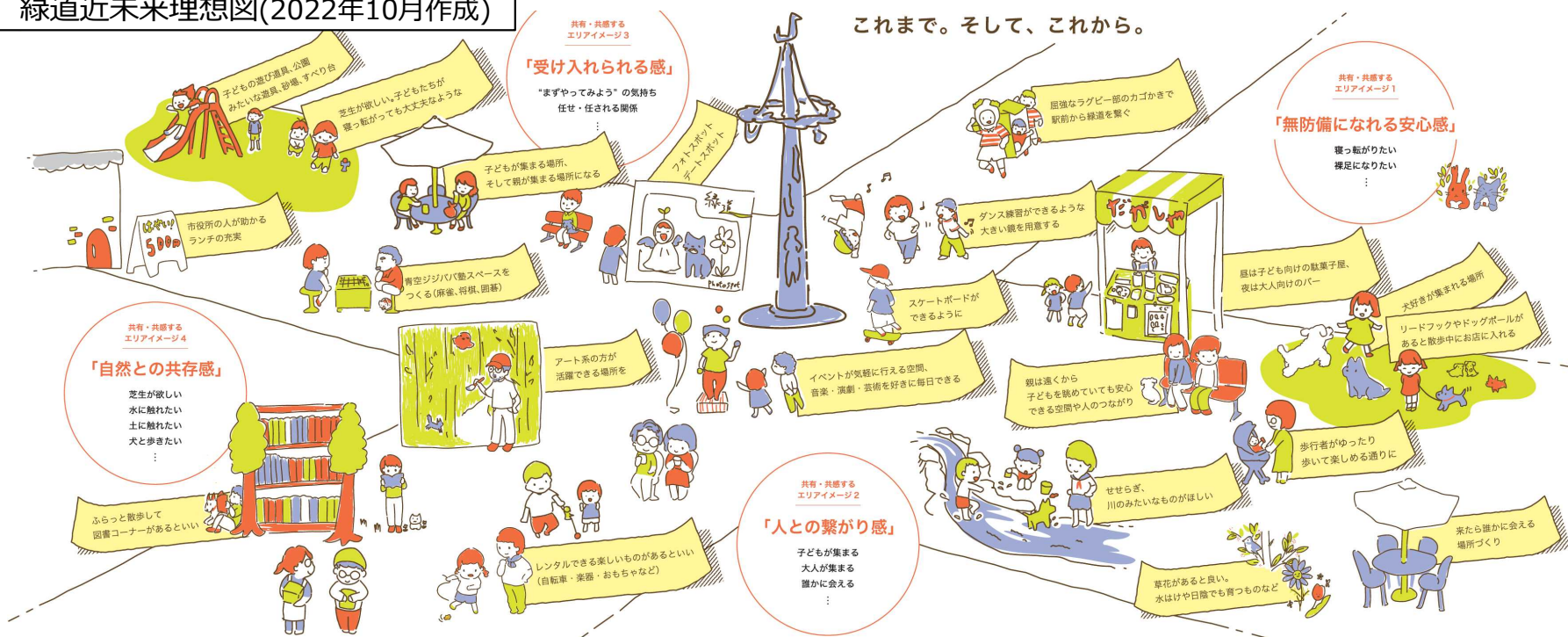
・ボランティア、学生による景観づくり、植栽管理等
ワークショップ・勉強会等

・緑道から旭川の暮らしを考える

・7条緑道エコミュージアム、緑道新聞発行
緑道カフェ（パラソルとカフェセットの設置・管理）

※旭川まちなかマネジメント協議会のオープンテラスと協働

緑道近未来理想図(2022年10月作成)



植え込み



緑道カフェ

3. 買物公園エリアの現状について

(7)買物公園エリアで実施されている取組 旭川まちなかマネジメント協議会 団体の概要

旭川市の中心市街地活性化に向けて市内商店街振興組合や商工会議所、旭川市など官民あわせて15団体から構成中心市街地活性化基本計画の枠組みの中で、イベント支援や商店街サポートなどを実施

主な取組

- まちなか交流館を運営
（「交流館ショップ」地場製品の販売・PR）
 - イベント開催の各種申請支援や調整
 - 市内各地の商店街をサポート
 - 中心市街地でのイベントの開催
 - ・オープンテラス
 - ・まちなかビアガーデン
 - ・まちゼミ
 - ・まいど！朝市
 - ・まちなかつァー
- など

まちゼミ



オープンテラス



まちなかビアガーデン



まいど！朝市



まちなかつァー



交流館ショップ

3. 買物公園エリアの現状について

(7)買物公園エリアで実施されている取組

ラクラクチケット

まちなかのお店の共通駐車券として、加盟店で買い物や食事をすると、金額に応じて共通駐車券がもらえる制度（駐車台数は約2,600台）



旭川市中心市街地出店促進補助金

- ・ 中心市街地の対象となる施設に出店される方に対して家賃の一部を補助
- ・ 補助金は、月額家賃の3分の1以内（千円未満切捨て。ただし、10万円を上限）を最大12か月間分交付

・ 条件【以下の他に営業内容の要件と補助対象者の要件があります】

1. 店舗専用の出入口が道路に面している1階又は2階の空き店舗
2. 店舗の外壁の一部が道路に面しており、当該道路から店舗の内部を見ることが可能な構造であり、かつ店舗専用の出入口を有する1階部分の空き店舗
3. 平和通買物公園エリア（宮下通から8条通の7丁目及び8丁目（ただし、宮下通にあっては左、8条通にあっては右に限る））において、道路に面して窓等を有し、営業時間内に営業していることが分かる構造となっている1階から3階部分の空き店舗
4. 集合住宅に併設予定の1階部分の営業用施設

道路使用・占用許可（イベント利用条件について）

条件1

地域の活性化や賑わい創出のために行うこと

条件2

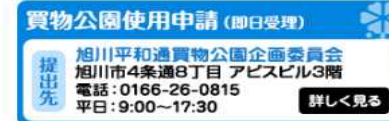
旭川市を含む団体等が取り組むものか旭川市が支援するもの

利用申請の流れ

①実施内容の相談 ※道路なので警察署に相談が必要です



②日程調整・確認



③電力を使う



④テント・机・イスなどの備品を

使う

使わない

※道路占用許可申請は不要



⑤食品を取扱う



ア. 他都市の事例紹介

- 新虎通りエリアプラットフォーム（東京都港区）
- 中土手町まちづくり推進会議
（文化交流エリア周辺地域エリアプラットフォーム）（青森県弘前市）
- 池袋エリアプラットフォーム（東京都豊島区）
- 自由が丘エリアプラットフォーム協議会（東京都目黒区）

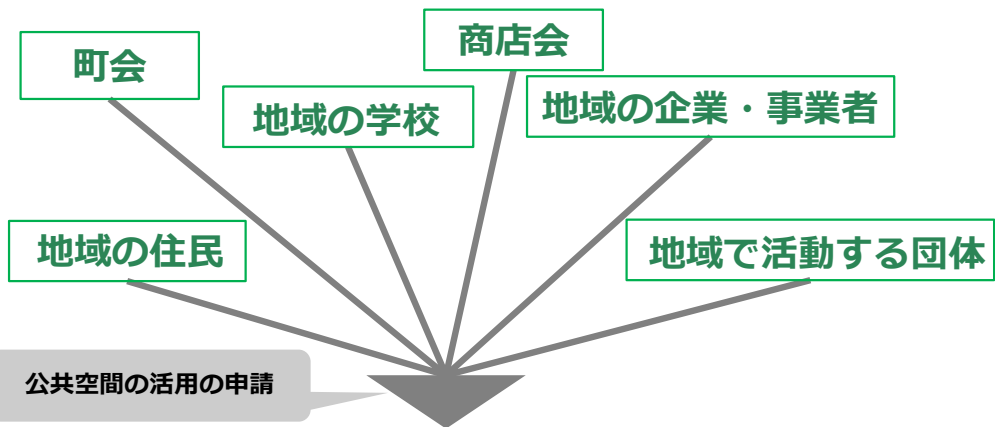
4. エリアプラットフォームについて

新虎通りエリアプラットフォーム協議会（東京都港区）

出典 新虎通りエリアマネジメント：https://shintora-am.jp/about/future/

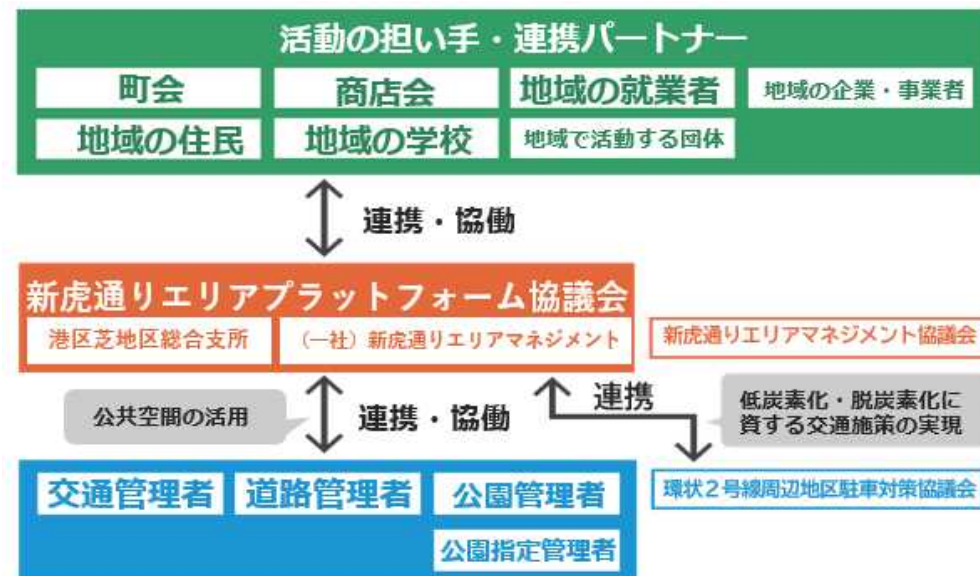
公共空間の活用申請をエリアプラットフォームが担い、事業者による円滑な活用を推進

活動の担い手



事業者が個別に道路管理者に手続きを実施
 従前の問題点：手続きの煩雑さにより、事業者個々の
 利用回数が伸びない

道路空間活用の申請が容易となり、事業者が
 歩行者空間内でオープンカフェ等をしやすくなる
 ⇒道路内の賑わい創出につながる



道路空間を活用する町会や商店会等の地域活動の担い手と行政等の
 公共空間の管理者をエリアプラットフォームが橋渡し



オープンカフェ



道路内建築の利用

4. エリアプラットフォームについて

中土手町まちづくり推進会議（文化交流エリア周辺地域エリアプラットフォーム）（青森県弘前市）

地方部における中心市街地の衰退等の課題解決に向け、地域組織等が連携し、空間活用の取組みを推進

課題

- ・ 中心市街地の衰退：民間事業者や個店、不動産オーナーなどの関係者を巻き込んだ活性化策の検討と試行が必要。
- ・ 若者、学生の流出：まちへの触れ合いによる愛着の形成と共に、創業・起業のサポート体制が必要。



プレイスメイキング（居心地が良い空間づくり事業）

まちなかアートピクニック
（令和2年度）



アートと公共的空間利活用により、エリア価値を高めるための社会実験を実施

ウォーカブルを味わうプレ事業
（令和4年度）



居心地が良い空間の提供のために、エリア中心の土淵川沿いでプレイスメイキング

エリアリノベーション（うら道小道魅力向上事業）

まちづくりプレイングマネージャー
（令和4～8年度）

- ・ 既存ストックの活用等によるウォーカブルに資する自主的な事業
- ・ 人材の育成を行うプログラムを構築し、後に続く民間プレイヤーの育成を支援
- ・ 自立したまちづくり組織の設立

4. エリアプラットフォームについて

池袋エリアプラットフォーム（東京都豊島区）

出典：池袋エリアプラットフォーム設立趣意書

池袋エリアプラットフォームが目指すまち

取組イメージ（地域既存の取組の拡大）



○公共空間の活用



IKEBUKURO LIVING LOOP

○グリーンインフラ



要町通り並木道



区庁舎（豊島の森）
屋上緑化・雨水管理

○モビリティの導入・活用促進



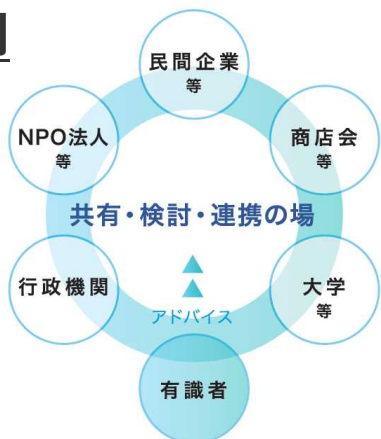
LUUP（電動キックボード）



アイカサ

ウォーカブルなまちづくりの推進

推進体制



池袋エリアの企業，団体，行政機関が
一体となり**情報共有・検討・連携**

4. エリアプラットフォームについて

池袋エリアプラットフォーム（東京都豊島区）

出典：豊島区HP

エリア内の店舗等経営者が想うまちの課題認識を，エリアプラットフォーム参画企業等と共有し，連携した取組みを推進

【取組み施策の例（池袋エリア）：ベビーカー貸出・乗り捨てサービス】

課題

子育て世代が回遊しにくい

⇒子育て世代の店舗オーナーが発意で子育て世代が回遊できるまちにしたい!

エリア内の企業等との連携

公共と民間が空間の提供
(ベビーカーの設置)，
窓口対応を実施



民間サービスを活用

Jeki (株) JR東日本企画
「ベビーカーレンタルサービス」

×

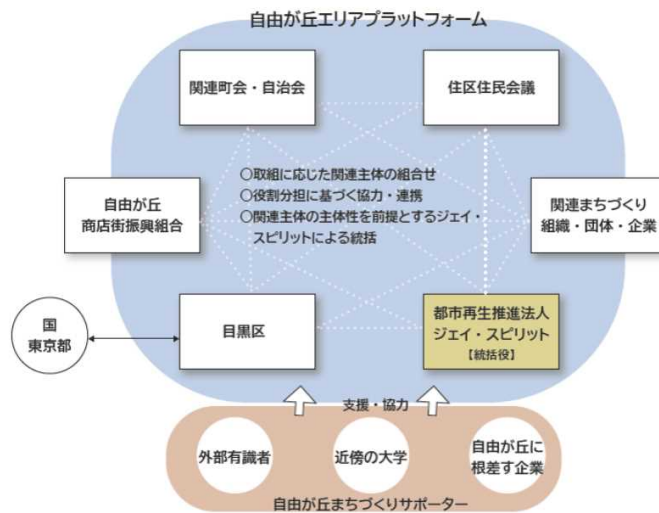


子育て世代の回遊行動の促進

4. エリアプラットフォームについて

自由が丘エリアプラットフォーム協議会（東京都目黒区）

エリアプラットフォームの取りまとめを行うまちづくり団体が、
エリアプラットフォームで共有した各種地域情報を、HPを通じて集約・発信



各部門からのお知らせ ▶ J-Spiritからのお知らせはこちら

2023/05/25 まち運営会議
第135回まち運営会議議事録を掲載しました

2023/05/20 まち運営会議
第136回自由が丘のまち運営会議開催のお知らせ

2023/04/27 まち運営会議
第134回まち運営会議議事録を掲載しました

2023/04/20 まち運営会議
第135回自由が丘のまち運営会議開催のお知らせ

2023/03/23 まち運営会議
第133回まち運営会議議事録を掲載しました

自由が丘街並み形成指針についてはコチラから▶

@Whiprun_runさんのツイート フォローする

ホイップ... @Whip... · 2020年7月28日
返信先: @Whiprun_runさん
自由が丘クリニック様の古山先生にもやっ
てもらったから見てみるん(๑•̀₃•́๑)
自由が丘クリニック様では運動が苦手な方
でもできることができる施術メニューがい
っぱいあるん〜👏
さらに詳しく知りたい方は自由が丘クリ
ニック様のホームページやInstagramも見てみ
てるん👏



自由が丘街並み形成委員会について ▶ 詳細を見る

まち運営会議について ▶ 詳細を見る

グランドデザインについて ▶ 詳細を見る

西北地区について ▶ 詳細を見る

再開発系・エリア情報について ▶ 詳細を見る

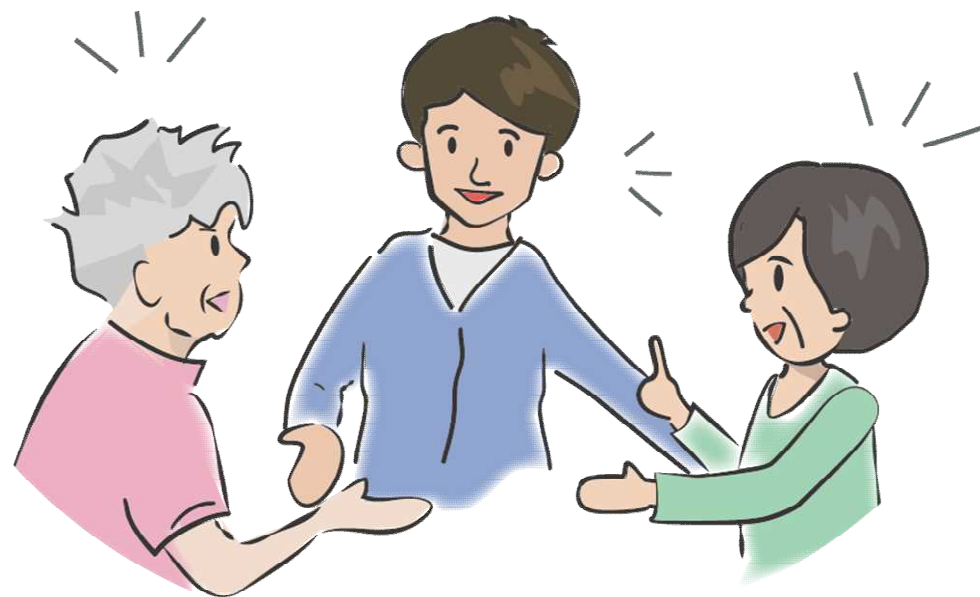
その他のエリア情報 ▶ 詳細を見る

4. エリアプラットフォームについて

各地域のエリアプラットフォーム取組み一覧

		新虎通りエリア プラットフォーム (東京都港区)	中土手町まちづくり推 進会議 (青森県弘前市)	池袋エリア プラットフォーム (東京都豊島区)	自由が丘エリア プラットフォーム (東京都目黒区)
（エリアプラットフォーム への参加団体等） 推進体制	居住者	●	●	×	●
	店舗事業者	●	●	●	●
	民間企業	●	●	●	●
	商店会・町会	●	●	●	●
	大学	●	●	●	●
	行政	●	●	●	●
	都市再生推進法人	●	×	×	●
取組（一例）	公共空間活用 (道路・公園等)	● 都市再生推進法人が実施	● エリアプラットフォームが実施	● 地元企業、商店街等が実施	● 都市再生推進法人が実施
	歩行者利便増進道路	● 都市再生推進法人が実施	×	×	×
	モビリティ支援 (人・荷物等)	▲ 未来ビジョンに記載	×	● エリアプラットフォームが実施	▲ 未来ビジョンに記載
	地域情報の発信	● 都市再生推進法人が実施	● エリアプラットフォームが実施	● エリアプラットフォームが実施	● 都市再生推進法人が実施
	未来ビジョンの策定	●	●	▲ 策定に向けて検討中	●

イ. 各参加者のイメージするエリアプラットフォームについて



買物公園で立ち上げるエリアプラットフォームについて
皆さんの意見をお聞かせください！

5. 今後のスケジュール

あり方検討会議スケジュール(予定)

